



霞台小だより

# ひばり

No. 672

令和4年10月31日発行  
青梅市立霞台小学校

校長 佐藤 広明

## 本当の豊かさと幸せとは

校長 佐藤 広明

今でも鮮明に覚えている20数年前の3月、帰国した私の目に映った日本は、驚きそのものでした。真っ黒な顔をして目の周りが真っ白な若い女性（いわゆるガングロ）、コンビニの前や駅のホームでの若者のしゃがみ込みスタイル。街中至るところで携帯電話を使っている人たち、そして学校では学級崩壊という新しい言葉と現実がありました。日本はどんな国になってしまったのだろうかという強い衝撃を感じたのでした。東南アジア、ミャンマー連邦・ヤンゴン日本人学校派遣から帰国した時の私の日本の印象です。

最近のミャンマーは、私がすごしたときと同じく、国の体制に関する不安になるニュースばかりです。日本から見るととても危険なイメージで、幸せや豊かさとは日本と対極にある国としか見えません。

比べて、今日本は、海外の情勢とともに不安な材料が一杯ですが、それでもあらゆるモノが身近にあふれ、自分のほしいモノは、お金さえあれば手に入れることができます。また、子どもたちは毎日学校に通え、食べたいものを食べ、テレビを見たりゲームをしたり自由な時間もあります。病気になるば薬があり、病院で治療が受けられます。電気やガス・水道・電話もごく当たり前のものでして生活の一部です。

しかし、「こんなこと当たり前」と思えるこれらのことは、皆さんがすぐに思い浮かべることのできる外国、たとえば、アメリカやフランス、オーストラリアなど、世界の一部の国に限ったことで、ミャンマーをはじめ、戦争になっているウクライナや名前を出さない大部分の国々では当たり前のことでないことが多いのです。

では、「お金がない」「モノがない」「電気がない」「病院がない」など、私がいた当時のミャンマーの人たちは毎日辛だけの生活をしていたと思いますか？決してそうではありませんでした。どんなときにも「ほほ笑み」がありました。

現地のある学校では、バンブーハウスの校舎に黒板ひとつだけの教室、子どもたちは何も持っていません。休み時間は外で走り回って遊ぶだけです。でも、その子どもたちの表情は幸せそのもので溢れていました。そうです。学校に来られること、学ぶこと、そのことが幸せと感じているのです。私は何度か、日本人学校の子どもたちが使わない鉛筆や文具類をもって、地方の学校を訪ねました。たった一本の鉛筆を、うれしそうに受け取っていた子どもたちのほほ笑みは忘れられません。

ミャンマーは敬虔な仏教国でもあります。一番偉い人はお坊さんです。毎朝街には托鉢のお坊さんの列があり、多くの人たちが朝食になるものを寄進しています。また、寺院には一日中老若男女を問わず参拝者で人々があふれ、祈りを捧げ、様々なお布施をしています。余裕のない生活をしていると思われる人々が多いはずなのに、なぜと思うのですが、ミャンマーの人にとって、それらは一番大事なことで自然なことなのです。幸せを仏への祈りとともに感じ取っているのです。ここに心の豊かさを感じます。

街角には物乞いをする人、明らかに栄養失調の子どもなど、負の部分もありました。しかし、日本にはない精一杯生きているという、力強いエネルギーを人々から感じました。

物質的な豊かさは、確かに便利で幸せを実感できる豊かさです。しかし、人にとって本当の幸せ・豊かさとは心が決めるのではないかと思えてきます。

私は当時のミャンマーが、今の日本より豊かで幸せの国に思えてくるのです。

11月の主な行事予定【授業日数20日】					
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火	委員会活動 ふれあい月間始	17	木	社会科見学予備日(5) クラブ委員会なし(4~6年 6時間授業)
2	水	短縮時程	18	金	セーフティ教室(全学年)
3	木	文化の日	19	土	
4	金	たてわり集会	20	日	
5	土		21	月	短縮時程
6	日		22	火	ぐるびか大作戦
7	月	全校朝会 避難訓練	23	水	勤労感謝の日
8	火	社会科見学(4)	24	木	図エアーティスト交流授業(5) クラブ活動
9	水	短縮時程	25	金	商品評価会(5)
10	木	クラブ活動	26	土	
11	金	社会科見学(5)	27	日	
12	土		28	月	全校朝会 大縄週間始
13	日		29	火	薬物乱用防止教室(56)
14	月	全校朝会	30	水	短縮時程 ふれあい月間終
15	火				
16	水	短縮時程			



霞台小学校HP

## 学校行事について

11月 8日(火)社会科見学 4年 玉川上水、羽村の堰、  
ふるさと工房(軍道和紙紙すき体験)

11月11日(金)社会科見学 5年 成木の森 森林体験  
青梅学の一環として、青梅の林業を実体験します。  
実際に間伐を行い、木を運び出し、木を加工することを  
学びます。

11月25日(金)商品評価会 5年

今年度の5年生は「霞カンパニー2022」を立ち上げ、  
ホットマンさんとコラボして、フェイスタオルとハンカチを  
商品化することになりました。地域関係者と保護者の  
方々が評価委員となって、開発デザインを競う商品評  
価会を実施します。

